

問 小中学校2学期制の導入は必要か

答 課題を解決するための教育改革の一環として取り組む

循環センター

問 生ゴミ分別収集は順調か。

環境課長 収集量は増加傾向にあり、異物の混入も少なく、生ゴミ分別が定着し始めています。

しかし、収集バケツの設置場所など、検討課題が多少残っています。

問 液肥は順調にできているか。

環境課長 町内全域での収集が始まった11月までに886トンの液肥ができました。

11月に麦の元肥として試験的に10ヘクタール、500トンほどの液肥を散布し

教育長 公立学校の権限を各自自治体にかかせようという動きが進んでおり、県が定めていた学期制を各自自治体で定めることができるようになりました。

2学期制を導入することで、授業時間数の確保、授業精選を通じた教職員の意識改革、学校生活にゆとりを持たせ、教職員と児童生徒が触れ合う時間を多く確保するというメリットがあります。

一方で、通知表が1回分なくなるという点で、保護者の不安があるかもしれません。が、細やかな生徒指導や学習指導を行い、保護者と連携を取りながら、子供の学習状態を報告していきます。

問 検討はどこまで進んでいるか。

教育長 10月の第2月曜日までを1学期とし、それ以降を2学期とする考えで、平成20年度からの試行に向け、学校で教育課程の編成と教育計画を検討してもらって

問 2学期制導入の意義とメリット・デメリットを聞く。

います。平成19年度には保護者、地域住民の皆さんに懇談会や説明会を行い、理解啓発に努めていきたいと思えます。

いじめ問題

問 児童生徒の問題行動の実態、特にいじめの件数はどれくらいあるのか。

教育長 いじめの件数は西田議員の一般質問で答えたとおりですが、不登校や不登校気味の生徒は中学校に5名います。

スクールカウンセラーや学校問題研究相談員、指導主事兼教育相談員などが生徒の心の対応にあたり、学習指導も保健室などで行っています。

問 どのように対応や指導を行っているか。

教育長 命の大切さ、道徳、倫理などの教育にしっかりと取り組んでいます。

特に、家庭訪問など、保護者との対話をしっかりと行うよう指導しているところがあります。

また、平成16年12月に教育相談ネットワーク会議を立ち上げています。

このなかに「いじめ対策会議」を設置していて、地域ぐるみの対策を進めています。

国民年金保険料

問 町で保険料を徴収していた時と比較して、社会保険庁が直接徴収する現在の納付状況はどうか。

町民課長 町で徴収していた時の最終月の納付率は89.9%でしたが、社会保険庁が直接徴収するようになってからは、平成18年9月末現在納付率は73.4%です。

口座振替の分はほとんどが納付されていますが、納付方法の40.6%を占める納付書による分は、納付率が5割をきっています。